

# 令和6年1月24日から25日にかけての冬型気圧配置による大雪について (滋賀県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

## 概要

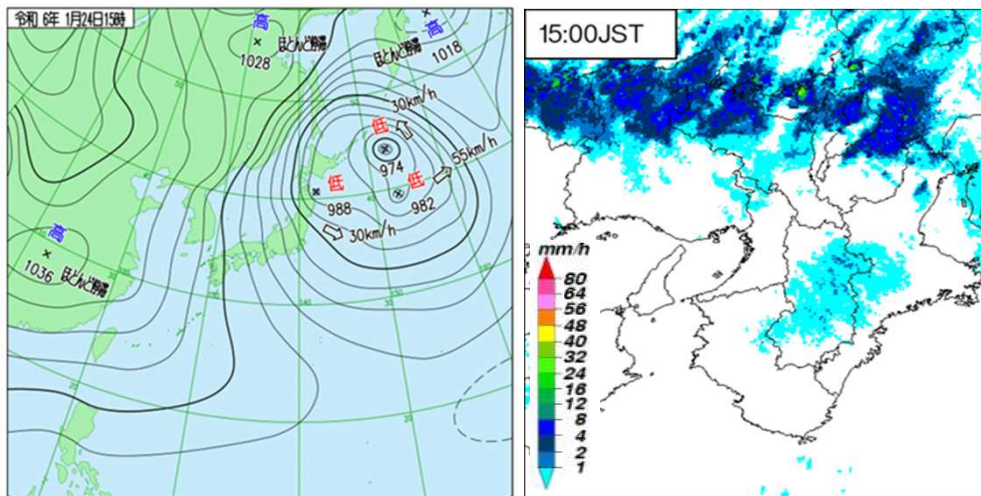
24日から25日にかけて、近畿地方の上空約5500メートルには、氷点下36度以下のこの冬一番の寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となりました。このため、滋賀県では北部、東近江地域を中心に大雪となり、短時間で記録的な大雪となった所がありました。25日12時までの最深積雪は、彦根32cm、高島市今津33cm、米原市朝日51cm、長浜市余呉町柳ヶ瀬59cmを観測しました。米原市朝日は24日13時までの6時間降雪量が40cmに達し、通年の1位の値を更新しました。

この大雪により人的・物的被害はありませんでしたが、鉄道・バス一部路線で運転見合わせ、一部道路の通行止め等がありました。

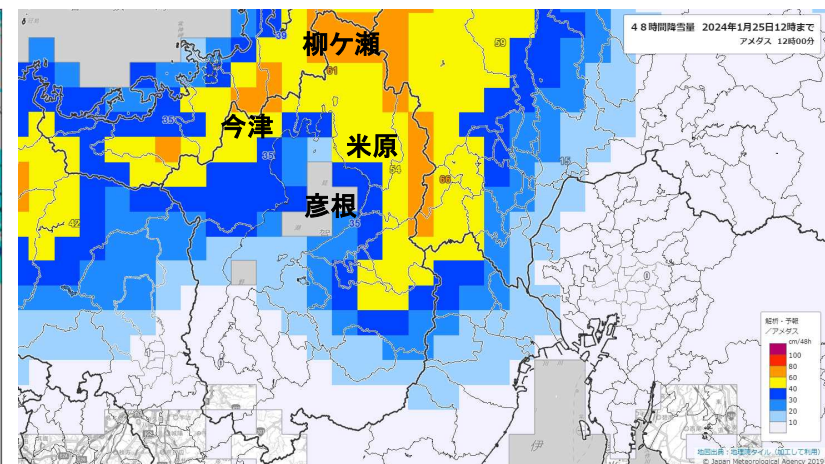
(滋賀県調べ、1月25日10時現在)

この大雪の対応として、彦根地方气象台は、23日22時04分以降、随時県内(近江西部・湖北・湖東・東近江)に大雪警報を発表しました。24日06時に長浜市余呉町柳ヶ瀬、13時には米原市朝日で、短時間に顕著な降雪を観測し、それぞれ「顕著な大雪に関する滋賀県気象情報」を発表し、一層の警戒を呼びかけました。また、彦根地方气象台から滋賀県にJETT(気象庁防災対応支援チーム)を派遣し、気象解説を実施しました。

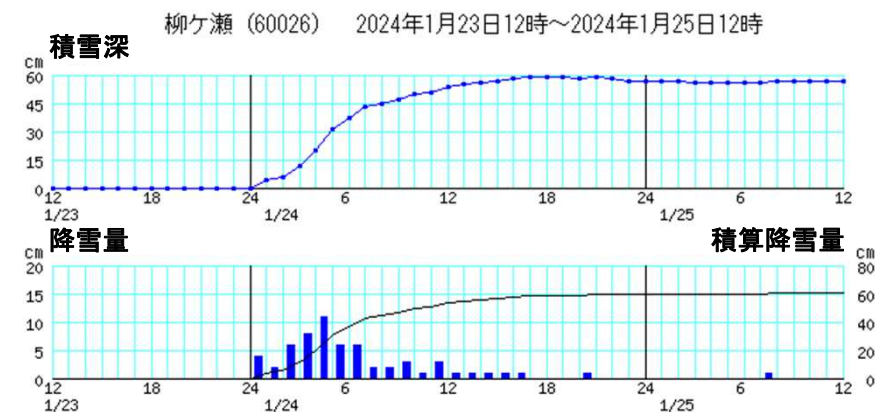
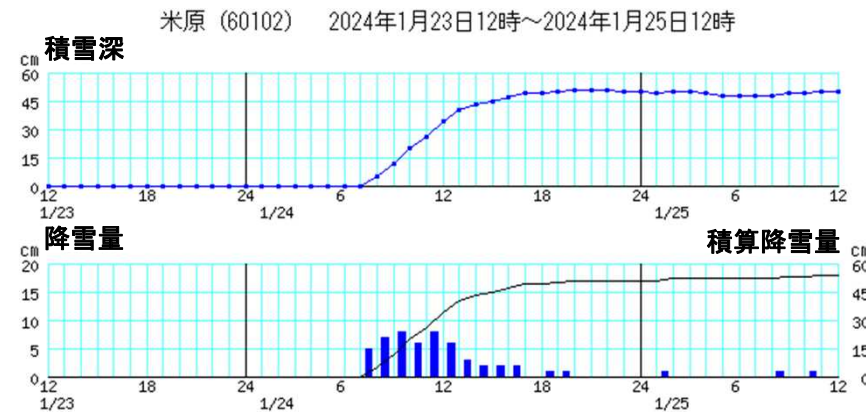
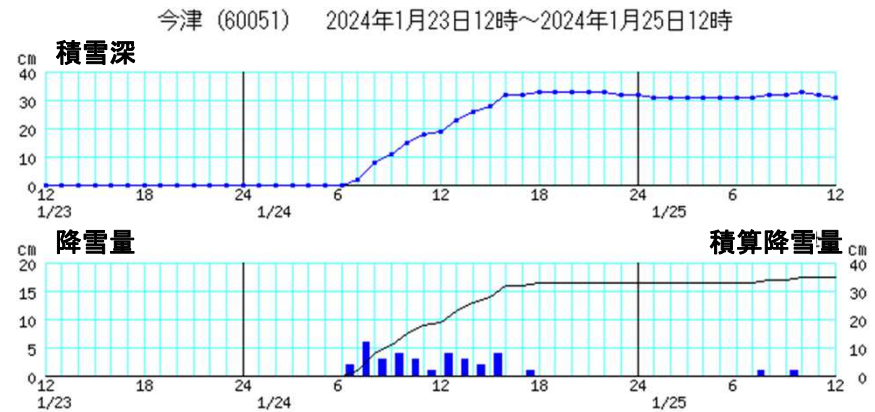
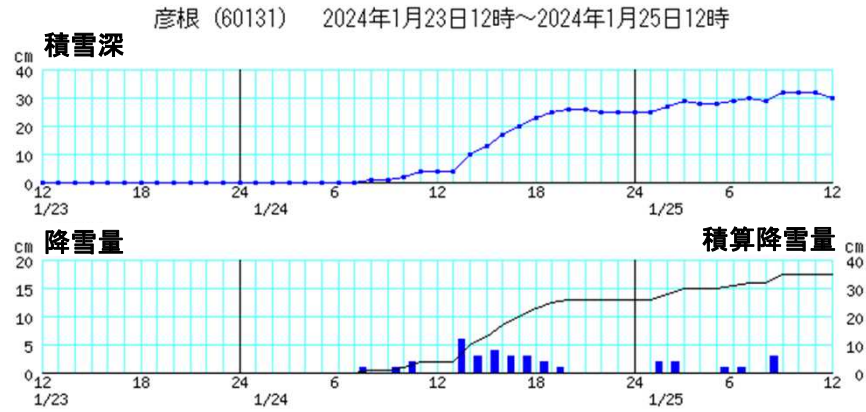
## 地上天気図・レーダー画像(24日15時)



## 解析降雪量(25日12時までの48時間降雪量)



## アメダス時系列グラフ【積雪深と降雪量(1月23日12時～25日12時)】



※上段折れ線グラフは積雪深、下段の棒グラフは1時間降雪量(左軸)、折れ線グラフは積算降雪量(右軸)を示す。横軸は時刻を示す。

## アメダス降雪量(48時間)と最深積雪(23日12時～25日12時)

地点名	降雪量(cm)	最深積雪深(cm)
彦根	35	32 (25日11時)
柳ヶ瀬	61	59 (24日21時)
今津	35	33 (25日10時)
米原	54	51 (24日22時)